

ホームページを動かす「PHP」に、重大な欠陥が見つかりました

世界中のホームページの多くで使われている「PHP」に、外部からサーバーを乗っ取られるおそれのある欠陥が2件見つかりました。修正版は10月21日23時に公開済みです。

総理大臣も、X公式アカウントで「大至急のお願い」として対応を呼びかけています。

内閣総理大臣 高市早苗 @takaichi_sanae 2026年10月21日



高市早苗 @takaichi_sanae · 1時間

皆様、今夜に対応して頂きたい大至急のお願いです。

多くのウェブサイトで使用されているPHPに関し、PHPのセキュリティチームが、重大な2件の脆弱性に関する注意喚起を行っています。

公開しているウェブサイトでPHPを使用しているか確認し、今夜、10月21日午後11時（日本時間）に公開される修正パッチについて、可及的速やかに適用できるよう準備をお願いします。

修正パッチを速やかに適用することが困難な場合は、例えばウェブサイト等を一時的に停止させることも、リスクを低減させるための有効策の一つと考えられます。

そもそも「PHP」とは

ホームページの「裏側」で動いている仕組みです。お問い合わせを受け付ける、お知らせを表示するといった処理を見えないところで担っています。WordPressで作ったホームページは、すべてPHPで動いています。



図1 PHPはお店でいえば「厨房」。お客様からは見えないが、注文（問い合わせ）を処理し、大事な情報につながっている。

放置すると、こうなるおそれがあります

サーバーの乗っ取り	ホームページの改ざん	お客様情報の流出
外部から自由に操作される	偽サイトやウイルスの入口にされる	問い合わせフォームの内容など

修正版の公開で欠陥の中身が知れ渡り、対応していないホームページが狙われやすい状態です。

御社のホームページは対象ですか

ホームページがWordPressで作られている	対象です
ページのURLに「.php」が付いている	対象です
お問い合わせフォームや会員ページがある	可能性があります
どれもわからない	確認が必要です

今日、やっていただきたいこと

- ホームページの制作会社・サーバー会社に連絡する
「PHPの緊急修正は済んでいますか」とお尋ねください。制作会社はサーバーを管理していないことも多いため、「サーバーは誰が管理しているか」もあわせてご確認ください。
- PHPのバージョンが、次のどれか以上か確認する
8.5.12 / 8.4.27 / 8.3.36 / 8.2.35
8.1以前は公式の更新が終わっており、待っていても修正版は届かない可能性があります。多くのレンタルサーバーは管理画面からバージョンを切り替えられるため、バックアップを取ったうえで切り替えをご検討ください。
- すぐに修正できない場合は、ホームページの一時停止も検討する

確認の方法がわからない場合は、担当営業までお気軽にご相談ください。

メコムグループ 株式会社メコム / 株式会社セント / 株式会社協和マイクロ

出典：PHP公式サイト（php.net）2026年10月21日発表、高市早苗氏のX投稿（同日）